

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	コストマネジメント小委員会	主 査 名：志手一哉 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：齊藤広子
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	持続性のある社会資本として建築の価値向上と有効活用に寄与すべく、建築を取り巻く様々なコストとそのマネジメントに関する研究の遂行を目的とする。 初年度：建築に関するコスト情報活用の整理、検討 2 年度：コスト情報活用に応じた算定手法の検討、整理 3 年度：資産マネジメントとコストに係る検討、大会での PD 実施 4 年度：建築のライフサイクルにおける「原価」の検討、検討結果の取り纏め	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：志手一哉 (芝浦工業大学) 幹事：橋本真一 (エムズラボ)、伊藤一義 (日建設計コンストラクションマネジメント) 委員：堤洋樹 (前橋工科大学)、杉田洋 (広島工業大学)、石田航星 (早稲田大学)、磯部正 (飛島建設)、岩松準 (建築コスト管理システム研究所)、浦江真人 (東洋大学)、遠藤和義 (工学院大学)、齊藤隆司 (日本郵政)、三原斉 (ものつくり大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	コスト分析 WG：建物の価値を決定づける再建設費、収益還元価値、市場取引価格に対し、実例ベースの分析を行う。また、ホールライフコストイング (WLC) の適用に向けた分析を行う。	
2021 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. パネルディスカッション「建物の価値を考える ～ストックの健全な活用に向けて～」 ・・・・・・・・参加者数 68 名 『同名資料』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2021 年度建築学会大会 (東海) にて研究集会を実施 2. これまでの活動内容を上記の頒布資料としてまとめた
委員会活動の問題点・課題	1. 2022 年度が最終年度のため、これまでの活動成果を整理する必要がある。